

## 若者たちの集える環境づくりについて（改訂継続）

2021年に開催された「東京オリンピック2020」での日本人選手の活躍などから、スケートボードが大きな注目を集めました。スケートボードに代表されるストリートスポーツは人気再燃し、桐生でも若者を中心に様々な場所でスケートボードに興じる姿を見ることができですが、その多くは公共の場であり、事故や器物破損のリスクを伴っております。実際にJR桐生駅の南口広場では、騒音などにより警察が出動するケースも発生しました。

つきましては、若者たちが健全にストリートカルチャーに触れ、スポーツとしてスケートボードやストリートバスケ、BMX、フットサルなどのストリートスポーツに勤しむことができる施設（パーク）の整備を要望いたします。安全に競技できる環境を整備することで、アスリートの人材育成や新たな関係人口の獲得につながる可能性も秘めておりますので、現在、老朽化が進む桐生スケートセンターや、撤去が決まっております境野水処理センターの屋上公園の再活用案として、何卒ご検討をお願いいたします。

### 桐生市からの回答

市が体育施設を整備するためには、ある程度の競技人口が存在することが前提であり、さらに、競技の発展という観点では、個人での活動ではなく組織立った活動も必要になるものと考えております。ストリートスポーツについては、現在市内に競技者による組織は存在していないと認識しており、競技者数なども把握できていない状況です。このため、まずは、競技者による団体を組織し、市民のスポーツの振興を図ることを目的に活動している桐生市体育協会に加盟するなど、競技スポーツとして組織的、体系的に強化が図れる体制をつくる必要があると考えております。

また、既存の体育施設についても、老朽化等により更新・修繕を実施しなければならない施設が存在しているため、財政負担の観点から現時点で新たな施設を整備することは困難と考えております。

なお、スケートセンターについては、施設全体の老朽化が著しく安全性が懸念される状態であることから、今年3月をもって閉場いたしました。跡地の利用方法については現在検討中ですが、近隣住民に迷惑が及ぶ、例えば騒音が発生したりするような利用方法ではできないものと考えております。

[回答担当] 市民生活部スポーツ・文化振興課スポーツ振興担当

境野水処理センター屋上公園につきましては、下水処理施設の屋上を利用し、地元住民の憩いの場として整備されておりますが、下水処理施設稼働より50年以上が経過しており、老朽化が著しく耐震性能も満たしていないことから、施設の改修工事は喫緊の課題となっております。

令和3年度に下水道事業ストックマネジメント全体計画を策定し、下水処理施設の改修計画についての検討を行いました。現在の計画では令和7年度に屋上公園施設の撤去を開始し、令和31年までに下水処理施設の改修工事を行う予定となっております。新たな公園等の施設につきましては、地元住民と協議の上、検討していきたいと考えております。

[回答担当] 水道局境野水処理センター管理係